

## 第1回南足柄市立学校「制服のあり方」検討委員会 の概要

1. 日時 令和3年6月30日(水) 18:30 ~ 20:00

2. 場所 南足柄市役所 5階 大会議室

3. 出席者 検討委員13名・事務局

### 4. 協議内容

(1) 「制服のあり方」アンケート結果について(検討委員から出た主な意見)

○親(大人)の立場からすると、制服はあった方がよい。

<理由>

- ・学校の一員であるという所属感や統一感がある。
- ・私服を購入する負担が少ない。
- ・社会に出たときに、職業上制服やスーツ等が必要となる仕事は多い。その準備としても、役立つ。
- ・高校入試や儀式の時に、洋服選びに困ることがない。
- ・小学生が中学生になるにあたって、制服は憧れである。また、中学生になって、着ることによって、過去の嫌な思い出があったとしても、心新たに頑張ろうという気持ちになれる。
- ・家庭や個人の差が出にくいいため、公教育には必要なものである。

○スカートを履きたくないという女子は多い。寒かったり、体調が悪いのに我慢してスカートを履かなければいけなかったりすることもあるし、スカートを履くことに違和感がある子がいるかもしれない。実際にそういう声を聞いたこともある。みんなが違和感なく着ることができるものがよい。

○子どもの立場からすると、制服は着替えが大変だったり、暑かったりする。

○(アンケートの回答にあたって)子どもと大人の意見が異なっているため、家庭では意見の統一が難しかった。

(2) 今後の「制服のあり方」について(検討委員が出した方向性)

○アンケート結果を見ても、制服はあった方がよい。

○学校教育の中では、T・P・Oに応じた服装を選択することを学ぶことが学習指導要領上でも定められている。その場に適した服を着用する指導をしていくためにも何らかの形で制服はあった方がいい。

○夏場はかなり暑い。サマーフォーマルという形でポロシャツの着用も考えられる。

○制服は必要だが、細かすぎたり、厳しすぎたりする決まりは見直すとよい。

○もし、制服を変更することになった場合、アンケート結果を踏まえ、以下の要素が重要である。

(全委員で確認)

- ・自宅で洗えるものとする。
- ・スカートやスラックスを選ぶことができるブレザータイプのものにする。
- ・機能性が高く、動きやすいものにする。
- ・できるだけ値段が安いものにする。
- ・暑さ、寒さに対応するため、調整しやすいものとする。(ブレザータイプにすることで、上着を脱いだり、下にセーターを着たりすることができるようにする)

○「制服は必要ない」という意見が、「制服自体が必要ない」ということか、「今着用している制服が必要ない」のかが分からない。このアンケートだけでは読み取れなかった。

- ・詳細を示した上で、再度アンケートをとることが必要。
- ・(制服を着た経験がない) 小学生は、発達段階を考えても、制服が必要かどうかを聞かれても、自分の意見をもつことは難しい。
- ・(実際に制服を着用している) 中学生に意見を聞くことがよい。

○仮に制服を変更することになった場合、次のことも方向性として確認する。

- ・市内3校そろったデザインでよい。その場合、ネクタイやリボン、校章などで変化を付けることも必要に応じて考える。
- ・3年間の移行期間を設け、その期間は、新旧の制服が併用できるようにする。既に在籍している上級生は、新しい制服を購入する必要はなく、家族や先輩等からのおさがりがある場合も、その着用を可とする。